



魯桃桜

編集・発行 長野市立長野図書館

〒380-0843 長野市長門町 1097-3

電話 026-232-3558

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



『朝陽館漫筆』の勾玉

松代藩家老の鎌原桐山(1774-1852)が書いた随筆見聞集『朝陽館漫筆』は、学者でもあった桐山が文化5年(1808)から約40年にわたって見聞したものの記録で、松代の真田宝物館が所蔵しています。市立長野図書館では、復刊された『北信郷土叢書』により、一部を読むことができますが、本当に多種多様なことが書いてあり、眺めているだけでも面白い随筆です。

中でも私が一番惹かれるのは、巻之十二に載っている「石川將軍塚発掘品」の章です。ここには寛政12年(1800)に農夫により鏡や曲玉などが発見されたことが記載されており、発掘品の模倣図が載っているのですが、その現物の勾玉などは篠ノ井石川の布制神社に残されて県宝となっており、今でも寄託された長野市立博物館で見ることができるのです。

市立博物館の常設展示で一番好きな勾玉の精密な絵が『朝陽館漫筆』に載っているのを見つけた時には、江戸時代の人が見て記録したものを現代の私たちも見ているのだなあと不思議な気持ちでとても心躍りました。なお、この出土品は『信濃奇勝録』の第五巻にも図が載っています。

市立長野図書館2階の郷土資料コーナーには、長野の昔を知りいろいろな資料があります。ぜひご利用ください。



県宝「伝川柳將軍塚古墳出土品」
布制神社所有(長野市立博物館に寄託)

『朝陽館漫筆』より

参考文献:『北信郷土叢書 巻2』北信郷土叢書刊行会/編纂 明治文献《N 210ホ2》、『信濃奇勝録 五』井出 道貞/著述 明治文献《N 290イ5》

歌舞伎

2月の
テーマ本



2月20日は歌舞伎の日です。

1607(慶長12)年のこの日、出雲阿国が徳川家康や諸大名の前で歌舞伎踊りを披露したことに由来します。江戸城に設けられた舞台には庶民も大勢つめかけました。

出雲阿国は歌舞伎の創始者とされる女性です。「傾奇者」の奇抜な服装や行動を取り入れたお国の歌や踊りや寸劇は、「歌舞伎踊り」「お国歌舞伎」と呼ばれ、当時の人々を熱狂させました。

図書館カレンダー

★開館時間 平日 9:45-19:00
土・日・祝 9:45-18:00

2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

● … 休館日

12月・1月発表の主な文学賞

第170回 芥川龍之介賞(2023年下半期)
「東京都同情塔」 九段 理江 1月刊行
※『新潮』2023年12月号《雑誌コーナー》にも掲載

第170回 直木三十五賞(2023年下半期)
『ともぐい』 河崎 秋子 《Fカ》
『八月の御所グラウンド』 万城目 学 《Fマ》

第50回 大佛次郎賞
『小津安二郎』 平山 周吉 《778オ》

第40回 織田作之助賞
『それは誠』 乗代 雄介 《Fノ》

第15回 日経小説大賞
「紅珊瑚の島に浜茄子が咲く」
山本 貴之 3月刊行予定



新刊案内

『注文に時間がかかるカフェ』

大平 一枝／著 ポプラ社 《496 オ》

吃音で「いらっしゃいませ」、メニュー、代金が言えず、接客アルバイトを諦めてきた若者たちが、奇想天外な 1Day カフェを始めた。エッセイの名手・大平一枝が取材した、温かな感動ノンフィクション。

『柑橘のお菓子づくり』

今井 ようこ／著 誠文堂新光社 《596 イ》

さまざまな柑橘を使ったお菓子とその作り方を紹介。卵・白砂糖・乳製品を使わないナチュラルスイーツと、ハーブやラム酒を使った上品で大人っぽい味のエレガントなお菓子を提案する。



『平安かな書道入門』

根本 知／著 雄山閣 《728 ネ》

平安かな書道の特色を学ぶのに適した基礎的な古筆を取り上げ、用具・用材から筆の持ち方、変体仮名まで、その見方や学び方を丁寧に解説。変体仮名一覧表、散らし書き参考作品も収録する。

『しあわせの輪』

群 ようこ／[著] 角川春樹事務所 《F ム》

大手広告代理店を早期退職したキョウコは、貯金を切り崩し、月 10 万円の暮らし。老後に少々不安を感じながらも、日常の暮らしに喜びを感じながら、今日も楽しくのんびり生きています。「れんげ荘」シリーズ第 8 弾。

『テラ・アルタの憎悪』

ハビエル・セルカス／著 早川書房 《963 セ》

スペイン、カタルーニャ州の田舎町テラ・アルタ。町いちばんの富豪夫妻が、激しい拷問の末に殺された。犯罪から足を洗い警察官となったメルチョールが事件の捜査に当たるが、想像だにしない地獄へと引きずり込まれて…。

『戦争語彙集』

オスタップ・スリヴィンスキー／作 岩波書店 《989 ス》

ウクライナを代表する詩人が、戦火を逃れてきた避難者の証言を聴き取り、77 の単語と物語で構成した文芸ドキュメントを、ロバート キャンベルが翻訳。避難者たちの声をつぶさにたどる、翻訳者による手記も収録する。



2 月映画上映予定

時間:14:00 から 場所:3階 視聴覚室にて

2月 10 日(土)

タイトル…「嵐が丘」

字幕・モノクロ・104 分

監督…ウィリアム・ワイラー

CAST…ローレンス・オリヴィエ／マール・オベロン

デヴィッド・ニーヴン

ジェラルディン・フィッツジェラルド

※1939 年 アメリカ作品

2月 24 日(土)

タイトル…「三十九夜」

字幕・モノクロ・83 分

監督…アルフレッド・ヒッチコック

CAST…ロバート・ドーナット／マデリーン・キャロル

ルーシー・マンハイム／ペギー・アシュクロフト

※1935 年 イギリス作品



観たり聴いたり *新着 CD からピックアップ*

『眠い町』 福井 一恵／朗読 《913 ネ》

「この砂がなくなったら、ふたたびこの眠い町に帰ってこい。」少年ケーが訪れたのは、訪れた旅人を眠らせる「眠い町」だった。小川未明の作品を、アナウンサーで絵本セラピストの福井一恵さんが朗読する CD。寝たいのに眠れない夜にぴったりの一枚です。



新着 CD

- ♪ インドのシタール 《762 タ》
- ♪ 魅惑のパリ 《763 ミ》
- ♪ 笠置シズ子の世界 《767 カ》
- ♪ 絆 FOREVER 《767 リ》
- ♪ トロピカルドリーム 《779 コ》